

普及活動情勢報告（令和6年11月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

今年の黄玉の状況は？ ～物部柚子生産部会黄玉出荷検討会～



サンプルを見ながら選別基準を確認している様子

10月22日、J A高知県香美地区物部柚子生産部会は、黄玉出荷検討会を開催し、部会員61名が参加しました。

検討会では収穫・選別・出荷時の注意事項を確認した後、三役及び委員で等級別に選別したサンプルを見ながら、選別基準の確認をしました。農業改良普及課は今作の生育概況の振り返りや発生が多かったハナアザミウマ類の加害果は貯蔵中の腐敗リスクがあることを説明し、冬至規格に入れないよう指導しました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と協力して高品質なユズの生産安定を支援していきます。

中央東地区農村女性リーダー（そよかぜの会）学習会 ～防災植物学習会～



調理のデモ中
～どんな味かな？！～

10月23日、管内の農村女性リーダーが、中央東農業振興センター会議室で、野菜ソムリエで防災士の斉藤香織氏を講師に「防災植物学習会」を開催し、9名が参加しました。

農業改良普及課は、会場や調理の準備を行い学習会が円滑にできるよう支援しました。会では、「防災植物」の定義や食べられる野草の紹介と間違いやすい野草の見分け方についての説明があり、講師持参の野草を活用して、災害時の貴重な水を使った洗浄方法や調理のデモンストレーションがありました。スナック菓子やふりかけ、乾物（わかめ、干し大根）などを常備しておくことと重宝するとのことでした。

参加者からは、「身近な食べられる野草がわかったので、早速調理してみる」との声がありました。

農業改良普及課は、今後も女性リーダーの活動を継続して支援していきます。

収量のピークに向けて情報共有！ ～香美地区促成シシトウ現地検討会～



現地検討会の様子

10月25日、J A香美地区ししとう部会が現地検討会を開催し、生産者5名が参加しました。

農業改良普及課は、①環境データを活用した温度管理、②光量やCO₂濃度によるシシトウの光合成速度の違い、③非辛みシシトウの生育及び収量調査の結果について情報共有を行いました。

生産者からは「このほ場の光合成速度はどのくらいか？」といった質問があり、実際に日射量を測定して光合成速度を算出し説明しました。また、非辛みシシトウを栽培している生産者が他の生産者に非辛みシシトウを薦める場面も見られました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して、シシトウの安定生産の支援や、非辛みシシトウの普及に取り組みます。

厳寒期の温度管理を見直しましょう！ ～南国市ピーマン・シシトウ合同勉強会～



熱心に講習を聞く生産者

11月1日、J A高知県土長営農経済センターで、南国市の生産者を対象としたピーマン・シシトウ合同勉強会が開催され、生産者19名が参加しました。

農業改良普及課は、植物生理に基づいた温湿度管理について説明しました。

生産者からは、早朝加温に関する質問が多く出され、必要性を感じた生産者からは「早速温度管理を変えてみる」との声が聞かれました。品目や部会を超えた交流につながり、共通の課題に対して積極的に意見交換される活発な会となりました。

農業改良普及課は、今後も合同勉強会の開催を支援し、生産者の交流や課題解決につながる取組を実施します。

ハウス内に侵入するアザミウマへ赤信号！ ～赤色LED実証試験～



調査トラップ設置の様子

J A香美地区とJ A土長地区のやっこねぎ部会では、R 6年度から2年間、国のグリーンな栽培体系への転換サポート事業を活用した、赤色LEDによるアザミウマ防除実証に取り組み、南国市・香美市に計3カ所の実証ほを設置し、11月12日に調査を開始しました。

施設小ネギ栽培において、アザミウマ類の食害は収量や品質低下の大きな要因であり、近年では薬剤抵抗性の発達による化学合成農薬の効果低下が大きな問題となっています。赤色LEDはアザミウマ類の侵入・拡散抑制効果が確認されており、抵抗性発達のリスクがなく、かつ省力化にもつながる防除技術として、産地内で期待の声が高まっています。

農業改良普及課は今後、定期的な調査と結果の検討を重ねて、小ネギ栽培の課題解決に向けて取り組んでいきます。

露地ショウガ収穫最盛期！ ～ネコブセンチュウ防除実証～



実証展示ほでの収穫作業

11月15日、香南市夜須町露地ショウガほ場において、ショウガの収穫作業が行われました。当ほ場は高知県植物防疫協会の薬剤実証展示ほとしてネコブセンチュウの薬剤試験を行っており、農業改良普及課は生育調査と被害発生状況調査を併せて実施しました。

管内のショウガは10月下旬から収穫の最盛期を迎え、11月中旬頃まで続けられます。本年の作柄は5月の低温や8月の猛暑の影響で例年になく草丈が低いほ場が平地を中心に多く見られ、生産量の減少が予測されています。

農業改良普及課は、生育や実証試験結果を取りまとめ、栽培講習会などで報告するとともに次作の課題解決に向けた支援を行います。